

情報機器を活用した授業づくり

近年、情報機器の発達は目を見張るものがあります。わたしなど、アナログ人間はまったくついていけない状況にあります。

しかし、本校の教員の発案により、タブレット端末を利用し、既にある大型テレビや教師用パソコンを連携させた授業をめざし、研究を進めることにしました。

具体的には、ネット上から写真や動画を取り込み、自分が調べたことを発表することにより、子どもたちのプレゼンテーション能力をあげるような授業や、体育授業で跳び箱を跳んでいる所を撮り、跳び方や手の付き方がどうであったか、互いに教えあったり、学びあったりする授業。また、教材提示装置として、漢字の書き順や図工の作品の作り方を説明する際に、見本として教師の動きを大画面で移しながら一緒に作業を進めていくこともできます。

まだ試行段階ですので、どこまでできるかわかりませんが、先生も子どもたちも新しいチャレンジが始まります。

突然ですが、ここでクイズです。(対象：4年生以上の保護者の皆様)

「給食の野菜はどこからくるのでしょうか？」給食室の前にこんな掲示物があります。食育の一環として行っている取り組みですが、給食で使う野菜が日本のどこからやってくるのか？各県ごとに赤い小さなシールを貼って示しています。はじめは、全体的にポツポツという感じでしたが、毎日見ているとどんどん特定の県に赤いシールが集中してきているのがわかります。

さて、ここで問題です。5月16日現在、本校の給食で最もたくさんの野菜を生産している県はどこでしょう？

最近では、各都道府県が地図上でどこにあるか答えられない大学生がたくさんいると聞きます。日本の国土の様子は4年生で習います。4年生以上ならわかるはずですが・・・どうでしょう。ご家庭でのちょっとした働きかけが、学習意欲を高めることがあります。一度、お子様に聞いてみてください。

工事の状況

校舎の改築工事もいよいよ終盤となってきました。ご覧になるとわかりますように、4階建ての校舎はものすごい迫力を感じさせます。この校舎の完成が7月末の予定となっています。

今後は、校舎改築工事に並行して、外構工事が始まります。6月中旬からは、南校舎南側の花壇を撤去し、消防用通路の確保が行われます。同時期には、体育館北側のバスケットボールコートに建築事務所が移設され、高学年が喜んで使用していた場所が使えなくなってしまいます。

やがて9月からは旧校舎の解体作業が始まるため、北門の使用ができなくなり、敷地の北半分が立ち入り禁止となります。通学路の変更も余儀なくされます。ですが、この頃には東門が新しくなり、立派な門からはいることができ、いよいよ新校舎での生活が始まります。

その都度、機会を見てお知らせしていきます。子どもたちには不自由をかけ、保護者や地域のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、もうしばらくご理解、ご協力たまわりますようお願いいたします。